

学院大・短大入学式

647人決意「夢に向かって努力」

平成十九年度金沢学院大学大学院、金沢学院大学、金沢学院短期大学の合同入学式は四月七日、第一体育館で行われ、大学編入学、大学・短大の各専攻科を含めた計六百四十七人が新たな決意を胸に学生生活の一步を踏み出しました。同日は金沢学院東高校の入学式も行われ、二百九十一人が笑顔で校門をくぐりました。



入学式で式辞を述べる石田学長
|| 金沢学院第一体育館

東高校に291人入学

東高校入学式では、石田毅士郎校長が式辞で「苦しくつらいこともあると思うが、途中であきらめないこと。努力を続けることの中から新たな『創造』が生まれる」と新入生を歓迎し、飛田秀一理事長は「クラブ活動でも趣味でも始めたか



新入生を代表して宣誓する深田君 = 東高校体育館

途中であきらめないで

東高校入学式では、石田毅士郎校長が式辞で「苦しくつらいこともあると思うが、途中であきらめないこと。努力を続けることの中から新たな『創造』が生まれる」と新入生を歓迎し、飛田秀一理事長は「クラブ活動でも趣味でも始めたか

斉藤さんは高校卒業制作で

現代美術展 本学関係11人入選
第六十三回現代美術展に金沢学院大学美術文化学部と美術文化専攻科の学生、同卒業生・修了生、教員の合わせて十一人が入選しました。
このうち、日本画専攻科生の原千紗さんは新入選で佳作に入賞、同じく陶芸専攻科生の魚津悠君は再入選で佳作に入りました。
また、学部一年の斉藤笑子さんは金沢学院東高校の卒業制作である切り絵を工

身に付けるべく学則を守り勉学や部活動にいそむ」とそれぞれ宣誓しました。
石田寛人学長は式辞で「充実した学園生活を送るために、良識を踏まえルールを順守すること、はつきりした目標を持って、労を惜しまないこと、の二点を要望する」と述べました。
飛田秀一学校法人金沢学院理事長は「何事も途中でやめない、あきらめないこと。そのためにマンネリを防ぎ、仲間を見つけ、我慢も必要」と激励しました。式後、オリエンテーションに続いて新入生歓迎会があり、各サークルが工夫を凝らして活動の紹介を行いました。



飛田理事長から名誉教授の称号を授与される前田教授。左から浅蔵教授 = 金沢学院理事長

名誉教授に浅蔵、前田先生
学校法人金沢学院は四月一日付で、浅蔵五十吉金沢学院大学教授、前田俊枝金沢学院短期大学教授に名誉教授の称号を授与しました。これで名誉教授は大学十六人、短大は十五人になりました。

発行・広報室

3月末に5人が大学卒業
金沢学院大学は三月三十一日付で、新たに五人（文学部美術文化学部各一人、経営情報学部三人）が卒業しました。これで平成十八年度の卒業生は三百六十三人となりました。
20日に合同企業面接会
金沢学院大学、金沢学院短期大学の学内合同企業面接会は四月二十日、金沢学院第一体育館で行われました。九十三社が参加し、大学四年、短大二年の学生が来春の就職を目指して採用担当者と面談します。